

平成20年2月(2008年) No.506

年度大賞は「SLやまぐち号」 鹿児島県の山口幸代さんが初の大賞受賞

今年最初の1月例会は14日(月曜祭日)の午後1時より、いつもの大阪市立難波市民学習センターにて開催、29名の出席と17本の出品を得て盛会でした。例会終了後、総会に移りましたが時間が足らず、いささか早や足しの総会になってしまい残念でした。

総会では平成19年度の活動報告、役員役割分担の確認の後、年度賞、最多出席賞、最多出品賞等の各種表彰、会計報告、今年度活動計画が発表され、拍手で承認の後、会場を5階のスーパードライ阪神へ移して新年会を開催しました。

昨年一年間、皆さんお元気でビデオを楽しんで頂き、新しい年を迎えられたことは何よりの幸せです。今年もどうか明るく元気でよい作品をどしどし作って見せてください。

■年度賞発表

年度大賞	山口幸代さん	「SLやまぐち号」	HDV	13分45秒
年度優秀賞	江村一郎さん	「風雪余部」	HDV	5分50秒
年度秀作賞	山本正夢さん	「消えた海」	HDV	6分30秒
特別賞	井上勝彦さん	「映像技術に取り組む一連の作品」		

年度大賞の山口さんは、鹿児島から遠路、津和野方面へ幾度となく熱心に通われ、SLを追っ掛けて内容の濃い立派な作品を制作されたことが評価されました。江村さんの「風雪余部」は、一連の作者の余部作品の中でも特に映像感覚に秀でた作品として推薦されました。山本さんの「消えた海」は、現在、世界的に問題になっている環境破壊のテーマを的確に描かれている作品として評価されました。(特別賞については次頁へ)

2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜23日午後6時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。寒さ厳しい季節ですが、会場は年中春の陽気です。風邪など召されぬよう準備の上お出掛けください。楽しい例会にどうぞいらしてください。

〈年度賞発表の続き〉

特別賞に井上勝彦さん

平成 18 年 10 月例会で新入会された井上さんは、翌 11 月例会で自作のスタビライザーを駆使して制作された「ある夏の午後」という作品を発表、以後平成 19 年度末まで毎回出品されているご熱心さには敬服いたします。また、内容もスタビライザーのほか立体映像など技術的に高度な映像を使った映像を私たちにを見せて頂き、従来からの OMC 会員に大変大きな刺激をもたらしました。そこで、幹事会における選考会で「映像技術に取り組む一連の作品」として「特別賞」を授与することになったものです。まことにお目出度うございます。これからも作品楽しみにしております。

〈総会議事録より抜粋〉

■ 5 年間の例会記録

年度	会員	1 例会あたり		年間 作品数
		出席数	作品数	
15	40	26.1	12.3	147 本
16	40	27.6	15.2	182 本
17	41	28.8	14.9	179 本
18	41	27.4	14.5	174 本
19	38	28.6	15.0	197 本

注) 撮影会作品を含む。但し 1 例会あたりの平均値には含まず

■ テープ方式の変化

年度	DV	W	HDTV
15	97%	3%	0%
16	83%	13%	4%
17	65%	16%	19%
18	29%	27%	44%
19	15%	14%	71%

この 5 年の間に、すっかりハイビジョン化が進んだことが、表からも伺えます。

平成 20 年度にはこの傾向が一層進むものと思われます。

■ 撮影会参加未申込者で

参加希望又は変更希望者がありましたら関世話役へ至急連絡してください。

全国コンテスト受賞

おめでとうございます

◆ 第 19 回とよたビデオコンテスト
入賞 「奈良の鹿」 有村 博さん

■ 鉄具嘉夫さんが退会届

今まで例会後の帰りは終バスが出た後で奥さんが車で迎えに来られていたが、それも無理になったご様子。昼間例会を開いている映像北大阪を紹介しておきました。

1 月例会のレポート

1 月の例会は 14 日の午後 1 時より何時もの例会場で開催しました。司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼証明係を渡辺さん、奥さんの担当で進行しました。

◆ 出席者：有村、天草、石垣、江村、岡本、奥、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、田中、玉井、錦、西井、華岡、藤原、前田、増池、松本、宮崎、森、森下、森田、安居、山本、吉岡、渡辺（敬称略）29 人と作品本数 17 本でした。

◆ 上映作品（今月の記録と講評担当：有村博世話役です）

1) 湖東早春（テレシネ）

岡本至弘さん 9 分 30 秒

平成元年 2 月に行なった OMC 撮影会での近江八幡水郷の映像に湖東三山のお寺と左義長祭を入れた 8 ミリフィルム作品です。この 3 月に行なう撮影会の参考作品として上映されました。手漕ぎ舟の船頭さんによしを刈ってもらった思い出がよみがえりました。フィルム作品らしい雰囲気がある、と司会者のお話がありました。

2) 春を呼ぶ炎の竜

玉井 勻さん 15 分 00 秒

平成 12 年 3 月の近江八幡左義長祭を草津にお住まいの玉井さんが地元の協力者用にと 42 分にまとめられた作品がオリジナルだそうで、それを関さんが監修されて上映されました。毎年コンテストの行なわれる山車の飾りの制作が細かく描写されているのに驚きました。2 ヶ月もかけて作った飾りが認められ、優勝して喜ぶ町内の人達、

山車同士のぶつかり合いや最後の火祭も迫力があり見事な描写の作品でした。

3) 天神橋今昔

天草 稔さん 5分14秒

大阪中ノ島の東端、大川にかかる天神橋は昭和9年の架橋だそうです。近くの大林ビルの上から俯瞰撮影をされています。初代の明治の橋の名称看板は天満宮の庭園に残されていました。「天満の子守唄」の歌碑と共に唄が披露されます。タイトルにぴったりの好作品でした。平成14年9月の作品でした。

4) ねんりんピック2007 (W)

増池 茂さん 10分00秒

60才以上の高齢者を中心としたスポーツ、文化活動、健康、福祉の会である「全国健康福祉祭」が昨年は茨城で行なわれたそうで、増池さんはテニスの選手として参加されました。折悪しく雨の中での開会式となりましたがビデオ撮影に専念されたようです。全国から1万4千人の人々が陸上競技場に集い聖火台の点火など詳細に描写されます。テニス関係の歓迎式も記録されましたが肝心のテニスは中止になったそうです。貴重な思い出になったことでしょう。

5) 左義長まつり (W)

紙本 勝さん 9分40秒

紙本さんは昨年3月の近江八幡左義長祭を取材されました。八幡堀の紹介から日牟礼八幡宮での祭礼と続き、山車が町に繰り出し勇壮なぶつかり合いが始まります。クライマックスは夜の火祭りです。祭の作品作りがお得意の作者ですから迫力があります。見事な作品でした。

6) 堺高石消防出初式 (HDV)

奥 宏さん 9分50秒

堺の金岡公園で行なわれたイベントを取材されました。大勢の市民が招待されて見守る中、消防自動車にヘリコプターまで動員して軽業まがいの訓練が展開します。真っ青な空のもとカーキ色の制服が映えます。色とりどりの放水で終わります。楽しい作品でした。

7) 天空を駆ける (HDV)

前田茂夫さん 8分06秒

前田さんは何回、餘部に通われたのでし

よう。出てくるカットの殆どが橋上を右から、左からと走る列車を下から見上げています。数少ない列車の走行をこれだけ集めるのも大変だと思われます。終わりに近付きますとトンネルの上からのカットや遥かに遠い山の上からの俯瞰撮影などもあり、鉄橋を取り巻くあらゆる角度からの撮影がなされているのが判ります。今日の例会の前日にも現地に行かれていたとか。感心しました。

8) 滝めぐり (HDV)

渡辺雄史さん 6分30秒

昨年の11月末頃に三重県の赤目48滝にハイキングに行かれて16の滝の表情を撮影されて作品にしておられます。滝の名前の看板をその都度丹念に撮られていますのでよく判ります。元々ここは深い渓谷で一日の日照時間が短いので美しい紅葉もあまり望めません。約3.5キロ程の山道を往復されて丹念に滝を撮っておられて良かったと思います。

9) 吉野山蓮華会式 (HDV)

河合源七郎さん 14分04秒

金峯山寺蔵王堂で毎年7月7日に行なわれる法会を2回行かれて取材されました。大和高田市の弁天池で蓮の花が採取される所も描かれます。その蓮の花を蔵王権現に供える法会です。大きな青蛙を乗せた太鼓台が堂内に練り込み、法要の後、蛙飛びの作法が行われ、最後に導師の授戒によって目出度く人間の姿に戻る様が克明に描かれます。翌早朝からは行者達によって蓮の花が大峰山へと運ばれる姿が描かれて終わります。その撮影は車で先回りして取材されたとか。大変な努力を重ねられての記録です。よく知られた法会ですが初めてその全貌を見せて頂きました。

10) とんぼり道中 (HDV)

安居利次さん 8分00秒

昨今、大阪南の繁華街、道頓堀筋の変わり様は異常なようです。パチンコ屋にゲームセンター、足湯屋、居酒屋、コンビニ等々。道の真ん中に自転車置場はあるわ、若い女性の運転する車が走ったりして。旧中座の跡地ビルにある「ごらく商店街」に入って昔の商店に出会ってホッとする安居さ

ん。宙吊り人間のこれも大道芸なんでしょう。やがて法善寺横丁の不動さんに詣ってゴチャゴチャの大阪風景との対比が描かれます。楽しい作品でした。

11) 古寺幽玄 (HDV)

黒田敏彦さん 12分40秒

平成18年10月15日夜、奈良東大寺大仏殿の前庭で鎌倉鶴岡八幡宮の大勢の神官達によって「重源上人800年御遠忌顕彰祭」としての神楽舞が、沢山の招待客を前にして厳かに執り行われました。黒田さんはもう一人のカメラマンと2カメでこの行事を3時間にわたって撮影され編集されて今回私達に見せて頂きました。新聞社などのスチールは何人か居たそうですが、動画を撮ったのは黒田さん達だけだったそうで2度とない行事の映像だそうです。貴重な映像作品を見せて頂きました。

12) 花灯り (HDV)

進藤信男さん 6分02秒

「京都嵐山花灯路」と名付けたイベントが昨年12月に開催されたので取材されました。嵐山の渡月橋のライトアップから嵯峨野に入って天龍寺から野宮神社あたりの道には灯籠が置かれて竹藪もライトアップされています。清水寺界隈の三年坂あたりでもやっている様で奈良の燈花会もよく知られるようになりました。幽玄の夜を優雅に楽しむには季節的にはちょっと寒いかも知れませんがね。

13) 九寨溝 (HDV)

有村 博さん 14分33秒

昨年10月に現地で4泊して、まる2日間撮影したテープを編集しました。人の歩く所は全部板張りになっていてそこを大勢の観光客が歩きますので三脚が揺れて困りました。それに中国の人達の大きな話声がマイクに入るので滝や溪流の音の差し替えなど思わぬ苦勞をしました。久々の15分弱の長編、如何でしたでしょうか。是非ご意見お聞かせください。

14) 余部の夏 (HDV)

江村一郎さん 6分00秒

餘部鉄橋周辺の何気ない風景が点在して出てきます。蟬の抜け殻、朽ち果てた向日葵の花、のたうつ蛇、誰もが思いつかない

ようなカットが江村さんの手にかかるると立派な絵になっているのです。やがて鉄橋のライトアップが始まりオーバーラップして盆踊り。朝になるとその舞台の彼方に列車の走る姿。計算の行き届いた立派な作品に仕上がっていました。お見事でした。

15) カシュガル (HDV)

山本正夢さん 8分30秒

今回は中国の西の果て天山山脈に近い新疆ウイグル自治区のとある町での撮影です。ここは昔、シルクロードの交易で栄えた町だそうです。市場や旧市街地などに見受ける人達は漢民族というよりもパキスタンに近いのでアラブ系統の顔が多く、イスラムの礼拝もありました。山本さんは年に何回か上海まで船で渡って中国を長距離バスや列車で放浪的に旅行されるのがご趣味のようで私達もその都度珍しい風物を見せて頂けます。それも言葉が通じるという技をお持ちだから出来る事でしょう。中国に行けば私は中国人になりきるんだとおっしゃっているのをお聞きしたことがあります。

16) わが街の灯り (HDV)

西井 学さん 10分00秒

西井さんのお住まいは滋賀県の守山市、最近この街に名物が出来ました。各家がそれぞれに工夫をこらした電飾で見事な景観を演出します。クリスマスソングに乗って次々に楽しい飾りが紹介されます。昼間に飾り付けをしているシーンだとか、終わって片付ける所などあればもっと楽しくなるのでは、といったご意見がありました。

17) 実りの秋

富田林市加太町界限 (HDV)

宮崎紀代子さん 9分27秒

昨年10月に、お住まいの地区での色々な出来事を記録されました。稲の収穫から豊作を祝う祭礼のだんじり、そして手芸教室、幼稚園の運動会と続いて最後は芋掘り風景で終わります。それぞれの出来事を丹念に撮影されて良かったと思いますが、この作品、タイトルをいっそ「私の街の秋の出来事」といった風にされた方が観ている側もすんなりと納得するのではないのでしょうか。